

作成日 2024 年 8 月 30 日  
(最終更新日 2024 年 8 月 30 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

### 課題名：日本に於ける深部静脈血栓症の診療実態を明らかにする研究

#### 1. 研究の対象

2020 年 10 月 1 日から 2020 年 10 月 31 日に当院で深部静脈血栓症と診断された方

#### 2. 研究期間

2020 年 10 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：該当なし

提供開始予定日：2024 年 8 月 30 日

#### 4. 研究目的

深部静脈血栓症の診療は年々変化しています。最近では非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬 (direct oral anticoagulant: DOAC) の登場により抗凝固療法が大きく変化しており、海外の静脈血栓症のガイドラインの改訂が行われております。日本静脈学会サーベイ委員会では定期的に深部静脈血栓症の診療方法についてアンケート調査を行っており、我が国における経時的な治療の変化を報告してきました。前回の調査は DOAC の登場前であり、今回、再度後ろ向きのアンケート調査を行うことで、我が国における治療方法の変化を明らかにし、現在の深部静脈血栓症治療の問題点を明らかにすることとしました。

#### 5. 研究方法

全国の日本静脈学会会員全員を対象として、アンケート調査を行います。まず、2020 年 10 月 1 日から 2020 年 10 月 31 日までの 1 か月における深部静脈血栓症の治療経験を有する施設から、深部静脈血栓症の診断方法、部位、治療の具体的方法、転帰の詳細を症例毎に回答してもらい、得られた結果を解析します。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：深部静脈血栓症の診断方法、部位、治療の具体的方法、転帰 等

試料：なし

#### 7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、郵送や電子的配信等により共同研究機関へ提供します。

#### 8. 研究組織

日本静脈学会 静脈疾患サーベイ委員会  
東京女子医科大学 形成外科 八巻隆  
横浜南共済病院 心臓血管外科 孟真  
白石血管外科クリニック 白石恭史  
東京医科大学 心臓血管外科 西部俊哉

桑名医療センター 循環器内科 山田典一  
飯塚病院 血管外科 松元崇  
横浜市立大学 外科治療学 根本寛子  
川崎医科大学附属病院 心臓血管外科 田淵篤  
神戸大学医学部附属病院 形成外科 野村正  
京都大学医学部附属病院 循環器内科 山下侑吾  
東北大学病院 総合外科 梅津道久

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は特定の研究資金を使用しません。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：熊本赤十字病院心臓血管外科 松川 舞  
住所：熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1番1号  
連絡先：096-384-2111

当院の研究責任者：熊本赤十字病院心臓血管外科 松川 舞

研究代表者：福島第一病院 心臓血管病センター 心臓血管外科部長 小川 智弘